資料４

府立野崎高等学校
校長　　小畑 龍業

令和８年度　学校経営計画及び学校評価

１　めざす学校像

本校は昭和 51 年の創立以来、生徒一人ひとりを大切にする学校、地域に愛され、信頼される学校をめざしてきた。その伝統を受け継ぎながら、さらに生徒のニーズや保護者の期待に応える学校となることをめざす。具体的には、次の三つに重点を置く。
【１】生徒の自己実現を最大限に支援する学校　【２】すべての生徒が安全・安心に生活できる学校　【３】地域としっかり連携して生徒を育てる学校
人権教育をベースとした系統的なキャリア教育を行うとともに、「一人ひとりを大切にした」きめ細かな学習指導、生徒の安全・安心につながる生徒支援を教職員が一丸となって行い、生徒や保護者に「野崎高校に入学してよかった」と心から言ってもらえるような学校づくりを行う。

２　中期的目標

１　生徒の自己実現を最大限に支援する学校づくり
（１）生徒の「学ぼうとする力」を伸ばし、「生きる力」を育む
ア　学校がすべての生徒にとって安心して過ごせる「居場所」となるよう、生徒一人ひとりの人格を尊重し、きめ細やかな学習指導・生徒支援を行う。
イ　生徒の学習意欲向上のため教員の「授業力」を向上させる。計画・実践（指導）・評価・改善という一連の活動を繰り返すことにより授業改善および見直しを行う。また、校内における教員相互の授業見学、初任者研修・10 年経験者研修等による公開授業・研究協議への参加や、大阪府教育センター等で実施される研修・研究授業等に積極的に参加する。
ウ　本校生徒にとっての「わかる授業」「できる授業」をめざし、きめ細かな学習指導・ICT 機器を効果的に活用した授業形態や授業方法を工夫改善する。
エ　様々な課題を抱える生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握するため、SC・SSW・居場所スタッフ等外部人材を積極的に活用し、連携しながら生徒の自己実現を支援する。また、必要に応じて地域の関係機関等とも連携を図るとともに、本校生徒の様々な学習活動の場として、メンタル面から支援する居場所カフェの充実、図書室の有効的活用を図る。
※ 令和 10 年度までに、生徒授業アンケートの①「授業内容に興味・関心を持つことができた（興味関心）」と②「授業を受けて知識や技能が身に付いた（知識技能）」について、回答ポイント（満点 4.0）について 3.25 以上を維持する。（①R５:3.22,R６:3.29,R７:3.34　②R５:3.23,R６:3.32,R７:3.35）
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断の①「授業は分かりやすい」と②「自分は授業にまじめに取り組んでいる」について、肯定的回答率を①80%以上・②80%以上を維持する（①R５:71.0%,R６:75.7%,R７:83.3%　②R５:76.1%,R６:80.5%,R７:82.8%）。

（２）自主性・自立性を育成するキャリア教育を推進する
ア　生徒の社会的・職業的自立に向け、チャレンジ精神を持って進路を切り拓く実践的な態度を育成できる、３年間を見据えたキャリア教育の計画と実践に取り組む。
イ　地元企業・各種企業団体と協力した職場見学・インターンシップ、大学・短大・専門・専修・各種学校等と協力した学校見学や体験入学、校内における各種業者による体験セミナー等に参加する機会を増やすことで、生徒の進路意識の向上を図る。
※毎年度において、学校斡旋による就職内定率 100%と、理由のない進路未決定者０名をめざす。
※ 年１回のインターンシップを実施。
※ 令和 10 年度までに、生徒・保護者向け学校教育自己診断の「きめ細やかな進路指導がなされている」について、肯定的回答率をともに 80%以上を維持する（生徒 R５:78.0%,R６:81.4%,R７:85.0%　保護者 R５:80.8%,R６:86.4%,R７:72.4%）。

２　すべての生徒が安全・安心に生活できる学校づくり
（１）生徒一人ひとりの状況や教育的ニーズに応じた、きめこまやかな教育相談・教育支援の体制を構築することにより、困り感を抱える生徒の早期発見及び早期対応につなげ、問題事象の発生や不登校、中途退学を未然に防ぐ。
（２）生徒の背景にある要因を多面的かつ的確に把握し、カウンセリングマインドを持った指導・支援を行うとともに、家庭や地域と連携して生徒の規範意識や自律心を育成する。
（３）人権教育や総合的な探究の時間等の取組みを充実させ、他人を思いやる豊かな心や人権尊重の精神を育成する。
（４）HR 活動、生徒会活動、部活動、学校行事等において生徒が主体的に参加・行動する取組みを進めることで、生徒の自尊感情や自立心を育成する。
（５）校内防災体制の整備充実と、卒業後を見越した生徒の健康増進を図る取組みを進める。
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断の①「マナーや校訓を守っている」②「頭髪・服装指導は適切である」③「遅刻指導・授業遅刻指導は適切である」④「野崎高校へ入学してよかった」について、肯定的回答率を①90%以上を維持・②70%以上・③80%以上・④80%以上を維持する。
（①R５:90.6%,R６:91.4%,R７:91.7%　②R５:57.3%,R６:65.2%,R７:72.2%　③R５:67.8%,R６:72.9%,R７:75.0%　④R５:76.9%,R６:83.8%,R７:80.0%）
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断の「野崎高校は一人ひとりが大切にされている」について、肯定的回答率を 80%以上にする。
（R５:70.2%,R６:76.7%,R７:87.2%）
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断「相談できる教員は担任以外にもいる」の肯定的回答率について 80%以上を維持する。
（R５:77.3%,R６:82.4%,R７:87.2%）
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断の①「学校はいじめ・差別に対して適切に指導している」②「人権や命の大切さについての教育が行なわれている」について、肯定的回答率を①85%以上・②85%以上を維持する（ ①R５:77.6%,R６:80.0%,R７:87.8%　②R５:84.3%,R６:88.1%,R７:90.6%）。
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断の①「体育大会は楽しい」②「文化祭は楽しい」について、肯定的回答率を①85%以上・②85%以上を維持する。（①R５:72.2%,R６:81.0%,R７:79.4%　②R５:74.5%,R６:85.2%,R７:81.1%）
※ 令和 10 年度までに、生徒向け学校教育自己診断「学校へ行くことが楽しい」の肯定的回答率を 75%以上にする。（R５:65.1%,R６:68.6%,R７:65.0%）
※ 年２回以上、保健所との連携による健康増進にかかる取組みを実施。

３　地域としっかり連携して生徒を育てる学校づくり
（１）各種地域連携行事に本校生徒・教職員が継続的に参加できる校内体制を整備する。
（２）本校が中心となった地域連携行事を企画・実施する。
ア　近隣の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校の児童生徒と本校生徒が交流する機会を設ける。
イ　地元の保育所、小・中学校、高等学校、大学等の教職員と本校教職員が交流する機会を設ける。
ウ　大東市、市内中学校、大阪産業大学と「合同事業」を実施し、本校生徒・教職員の魅力を発信する。
（３）本校生徒の活動の様子や学校の取組みを積極的に発信する広報体制を確立する。
ア　本校ウェブページの学校ブログや SNS 等を定期的に更新することで、最新の情報を中学生、保護者、地域住民等に伝える。
イ　中学校への広報活動を充実させることで、本校志願者の確保に努める。

府立野崎高等学校

４　教職員の働き方改革推進
（１）「校務運営の効率化」を促進させ、すべての教職員が常に必要性と効率化を意識して業務に取組む。
（２）保護者連絡ツール等を活用し、保護者・生徒・教員に対する連絡・報告・調査等に係る労力を削減する。
※ 教員一人平均の月当たり時間外勤務について 25 時間以内を維持する（R５:24.9 時間,R６:18.5 時間,R７:22 時間）。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析［令和　年　月実施分］	学校運営協議会からの意見

３　本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R７年度値]	自己評価
１　生徒の自己実現を最大限に支援する学校づくり	（１）生徒の「学ぼうとする力」の伸長 ア生徒が意欲的に授業参加できるような学習支援	（１） ア・すべての生徒が意欲的に授業に取り組むことができるようきめ細やかな学習指導、生徒支援を行う。	（１） ア・生徒授業アンケート「取組度合」の回答ポイントを前年度より向上させる。[3.37]	
	イ教員の授業力向上	イ・校内における教員相互の授業見学週間の設定とともに、適宜、初任者研修・10 年経験者研修等による公開授業・研究協議を実施する。	イ・授業見学週間を実施［１回］ ・生徒授業アンケートで①「興味関心」②「知識技能」の回答ポイント 3.25 以上を維持する。 ［①3.34,②3.35］	
	ウ本校生徒にとっての「わかる授業」「できる授業」の実施	ウ・「わかる授業」「できる授業」をめざし、きめ細かな学習指導を行うための教員研修の実施や教材等の情報共有により、授業形態や授業方法の工夫改善を図る。	ウ　生徒向け学校教育自己診断 ・「授業は分かりやすい」の肯定的回答率 80%以上［83.3%］ ・「自分は授業にまじめに取り組んでいる」の肯定的回答率 80%以上［82.8%］ ・「先生がパソコン等を使う授業はわかりやすい」の肯定的回答率 85%以上［83.9%］ ・先生はわかりやすい授業のために工夫している」の肯定的回答率 85%以上［93.9%］	
	エ外部人材の積極的な活用と生徒支援	エ・SC・SSW・CC・居場所スタッフ等外部人材を積極的に活用し、連携しながら生徒の自己実現を支援する。 ・図書室を授業や居場所カフェなど生徒の活動の場として、積極的に活用する。	エ・SC、SSW、CC それぞれの対応件数を前年度並みに維持する。[SC:26 件、SSW:37 件、CC:30 件] ・居場所カフェの平均参加者数を前年度並みに維持する。[22.7 人]	
	（２）生徒一人ひとりの進路目標の実現 ア３年間を見据えたキャリア教育の計画と実践	（２） ア・本校の実情に対応し、３年間を見据えたキャリア教育の計画と実践に取り組む。 ① ハッシャダイソーシャルとの連携事業を実施する。 ② 大学・短大・専門・専修・各種学校等と協力した学校見学や体験入学を実施する。 ③ 各種業者による体験セミナーを実施する。 ④ 地元企業・各種企業団体と協力した職場見学・インターンシップを実施する。	（２） ア・就職内定率 100%、理由なき進路未決定者０名。 ［100%、０名］ ・生徒・保護者向け学校教育自己診断の「きめ細やかな進路指導がなされている」の肯定的回答率を生徒・保護者ともに 80%以上。 ［85.0%、72.4%］	
	イ生徒の進路意識の向上	イ・生徒が各種検定試験（①漢検②英検③ワープロ検定④数検⑤時事検定⑥情報処理技能）における資格取得をめざすことで進路意識の向上を図る。	イ・各種検定試験の受験者と合格者を昨年度より増やす。 [合格者数/受験者数] ①漢検［０/０］、 ②英検［０/０］、 ③　数検［２/11］、 ④ワープロ［11/12］、 ⑤時事検定［０/０］、 ⑥情報処理［３/４］	

府立野崎高等学校

２　すべての生徒が安全・安心に生活できる学校づくり	（１）通級指導・支援教育の体制の構築	（１）教育相談委員会を定期的に実施し、SC・SSW・CC・居場所スタッフ等外部人材と綿密な連携を行い生徒の自己実現を支援する。 ア・通級指導体制を整備し、本校生徒の現状に合った支援を行う。 イ・本校生徒の家庭環境、発達特性等の理解を深めるための教職員研修を実施する。 ウ・必要に応じ、就学対策委員会にて「個別の教育支援計画」を確認する。	（１） 生徒向け学校教育自己診断 ・「野崎高校は一人ひとりが大切にされている」の肯定的回答率 85%以上［87.2%］ ・「相談できる教員は担任以外にもいる」の肯定的回答率 85%以上［87.2%］	
	（２）生徒の規範意識や自律心の育成	（２） ア・生徒へ注意喚起するとともに学校近隣特に校門前の交通指導を行う。教員による校外巡回、交通安全指導、校門立番等を実施する。 イ・教員からあいさつを行うなど、生徒への啓発活動を工夫し、服装・頭髪指導、挨拶運動等を効果的に実施する。 ・問題行動の背景にある要因を多面的かつ的確に把握するとともに、カウンセリングマインドを持って生徒指導を行い、家庭と連携して生徒に寄り添った指導を心掛ける。	（２） ア・生徒指導部中心に交通安全指導と定期的な校外巡回とを前度並みに実施。［毎日、12 回］ イ生徒向け学校教育自己診断 ・「マナー・校訓遵守」の肯定的回答率 90%以上［91.7%］ ・「頭髪・服装指導は適切」の肯定的回答率 70％以上［72.2%］ ・「遅刻指導・授業遅刻は適切」の肯定的回答率 80％以上［75.0%］	
	（３）他人を思いやる豊かな心や人権尊重の精神の育成	（３） ア・コミュニケーション能力を高め、他者への理解を深めることにより、豊かな人権感覚を持った人材育成を図る学習を実施する。 イ・喫緊の人権課題に対応する教職員研修・生徒向け人権研修を実施する。	（３） ア 生徒向け学校教育自己診断 ・「学校はいじめ・差別に対して適切に指導している」の肯定的回答率 85%以上［87.8%］ ・「人権や命の大切さについての教育が行なわれている」の肯定的回答率 90% 以上［90.6%］ イ・教員向け学校教育自己診断の「人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている」の肯定的回答率 90%以上。［90.2%］	
	（４）生徒の自尊感情や自立心の育成	（４） ア・HR、生徒会、部活動、学校行事等で、生徒が主体的に参加・行動する取組みを進める。 イ・総合的な探究（学習）の時間で行う「コミュニケーションワーク」に関する教員の理解を深め定着を図る。	（４） ア・生徒会や HR 等で生徒の主体的な取組みを増やし、より多くの生徒が活躍できるようにし、生徒向け学校教育自己診断①「体育大会は楽しい」②「文化祭は楽しい」の肯定的回答率 85%以上。［①79.4%　②81.1%］ イ・各学年の総合的な探究（学習）の時間で、コミュニケーションワークを年間３回実施する。［３回］ ・以上のことにより生徒向け学校教育自己診断の「学校に行くことが楽しい」の肯定的回答率を 75%以上にする。［65.0%］	
	（５）校内防災体制の整備充実と、卒業後を見越した生徒の健康増進を図る取組みの推進	（５） ア・教職員実働防災訓練を企画、実施する。 ・生徒避難訓練の内容を見直して実施する。 イ・地域の保健所と連携したプロジェクトを実施する。	（５） ア・消防署と連携し、生徒避難訓練と教員実働防災訓練を１回実施［１回］。 イ・保健所と連携したヘルスアッププロジェクトを２回実施［２回］。	

府立野崎高等学校

３　地域としっかり連携して生徒を育てる学校づくり	（１）各種地域連携行事への、本校生徒・教職員の継続的な参加	（１） ア･だいとう森づくりクラブ(里山ボランティア)、しじょっこ地域教育協議会、中小企業同友会等の交流・協力関係を今後も維持する。 イ・大東市教育委員会と連携し、交流事業を実施する。	（１） ア･里山ボランティアへの参加３回[３回] ・中小企業同友会との連携懇談会に参加［１回］ ･茨田地域の夏祭り、四条地区フェスティバルに参加 イ･大東キャンドルナイトに参加	
	（２）本校が中心となった地域連携行事の企画・実施。 ア　近隣諸学校園の児童生徒と本校生徒の交流 イ　近隣諸学校園の教職員と本校教職員の交流	（２） ア・近隣諸学校園の児童生徒と本校生徒もしくは教員が交流する行事、部活動、授業等を設定する。 イ・近隣諸学校園の教職員と本校教職員による、合同研修や研究授業等を実施する。 ・近隣の中学校と「合同部活動」を実施し、本校生徒・教職員の魅力を発信する。	（２） ア・中学生向け体験授業（ﾐﾆﾁｬﾚ）の実施１回[１回] ・寝屋川支援学校との交流会を実施 イ･緑風冠高校との合同人権研修を１回実施[１回]。 ・中高連絡会を２回実施[２回] ・校外向け授業公開を１回実施［１回］ ・のざき BBS を 30 回実施［35 回］ ・卓球教室の開催［０回］	
	（３）広報体制の確立 ア　本校ウェブページの充実 イ　中学校への広報活動の充実	（３） 本校生徒の活動の様子や学校の取組みを積極的に発信する広報体制を確立する。 ア・本校ウェブページの学校ブログ、SNS 等を定期的に更新することで、最新の情報を生徒、保護者や地域住民に伝える。 イ・中学校（生徒・保護者・教員）への広報活動を充実させることで、本校志願者の確保に努める。	（３） ア・校長ブログ、学校ブログ、SNS で合計 200 回の投稿を行う。[171 回] ・学校教育自己診断「ホームページやブログ…」の肯定回答率を生徒 60%、保護者 85%［48.9%、84.5%］ イ･本校生徒による出身中学校訪問の実施。[29 名] ･出願者数を昨年度より増加させる。[101 名]	
４　教職員の働き方改革推進	（１）必要性と効率化を意識した取組みの推進 （２）保護者連絡ツール等を活用し、保護者・生徒・教員に対する連絡・報告・調査等に係る労力を削減する。	（１） ・管理職、首席、分掌、学年、各種委員会、事務室等の立場から業務の見直しを行う。 ア・学校閉庁日、全校一斉退庁日を設定する。 （２） 保護者連絡等の業務を効率的かつ確実に行えるよう、保護者連絡ツールを早期に導入する。	（１） ・年間の時間外在校等時間が 720 時間を超える教職員をゼロにする。［０人］ ア ・全校一斉退庁日（水曜日）を設定し､定時退庁日の増加を促す。[47 日] ・夏季冬季ともに６日以上の学校閉庁日を設定する。[合計 12 日] （２） ・教員一人平均の月当たり時間外勤務時間について､前年度より減らす。[22 時間]	